北区かがやき新聞

第18号
H30，10月

台風21号，大変でしたね。一番風が強いとき私は消防団の活動で大森にいたのですが，車が飛ばされるのではないかと思う程の風が吹いてきました。すぐに小野に戻ろうとしたのですが，杉や電柱が倒れて道路を塞いでしまい，しばらく戻ることができませんでした。今年は災害の多い年ですね。

話は変わりますが，今月から紙面のスペースを自由に使えるよう，新聞のデザインを一新してみました。今後ともよろしくお願いいたします。

活動報告

花脊ワンダーランド　移住相談窓口

左京区の花脊で行われたお祭りイベントである「花脊ワンダーランド」でブースを出店し，京都市北部山間移住相談コーナーの出張相談を行いました。移住相談に来られた方は5組程おられ，大阪や京都市内にお住まいの方がほとんどです。定年退職され，田舎でのんびり農業がしたいという方と，若いご夫婦で自然の中で子育てがしたいという方などでした。北山地域は街に近い「便利な田舎」であることを強調しておきました。

今回のお祭りは，自治会ではなく地域の有志が企画し，お店などに出店を依頼して実現したそうです。　当日は地域の小中学生によるブラスバンドがあり，花脊のレストランや，普段は街で営業しているポップコーン屋さん，マッサージや籠造りWSなど，50近い店舗が出店しており，熱量に圧倒されました。

そう言えば今年春に行われた雲ヶ畑のCAMP MARKETも，とても活気があったように思います。今後，民間主導のお祭りもアツいかもしれませんね。

ふるさと回帰フェア　移住相談ブース

９月９日に東京で行われた移住イベントである第14回ふるさと回帰フェアに，京都市として出展しました。これは田舎暮らしをしたい方に向けて，全国の自治体が地域の魅力を伝えるフェアで，どんどん来場者数が増えているようです。今回も，当日は2万人以上の来場があったそうで，京都市北部山間ブースでも50人近い訪問者，相談者がありました。

今年1月にも東京の移住フェアに出展しましたが，その時よりもかなり京都市の相談者が増えた印象があります。関東の方は“京都”というブランドに魅かれ，ちょっと話を聞きたいという方が多かったですが，中には近いうちに引っ越しまで検討している，という真剣な方も居られ，こちらも説明に熱が入りました。

こういったフェアは，出展してすぐに結果が出るものではないと思いますが，パンフレット配布などと併せて続ける必要があると思います。（島根県では，取り組みを続けることで年間4千人の移住者を達成したそうです。）

かがやき隊北区担当　金井亮介　（Mail:kaqdc308@city.kyoto.lg.jp　tell:075-406-2004　小野郷出張所内）